

“敷島の大和心を人問わば 朝日に匂う山桜花”（本居宣長）

この和歌から編隊名が名付けられました。

敷島隊編隊長 関行男海軍大尉（二階級特進海軍中佐）



愛媛県西条市・檜本神社にある敷島隊の碑文

人類 6 千年の歴史の中で、神風特別攻撃隊ほど人の心をうつものはない。

「壮烈鬼神を哭かしむ」とはまさにこのことである。

この種の攻撃を行ったものは、我が民族を除いて見当たらないし、日本民族の歴史においても、組織的な特別攻撃は、国の命運旦夕に迫った大東亜戦争末期以外にはない。



憂国の至情に燃える若き数千人の青年が自らの意思に基づいて、絶対に生きて還